

# 私の想い

## 『現在の子どもの成長をどう伝えるか』



社会福祉法人  
菱田保育園 園長  
甲斐崎 中

「親が変わることで子どもが変わる。」という考え方があります。逆に「子どもが変わると親が変わる。」という考え方もあります。保育する私たちは後者の体験をたくさん持つているし実践する機会にも恵まれています。保育園側における幼児教育では後者の考え方に若干ウエイトが置かれますが、保育をとおして保護者が一緒に変わるには子どもと驚き、喜びを共感し、発見による夢の広がり（ファンタジー）をともに楽しむことが

求められます。子ども達の成長の多くは環境からの学びがほとんどです。周囲の大人たちの思いや価値基準は子どもたちにとって大きな影響力をもちます。教育は、教え込むというより子ども自らが学べる環境をおいてあげることが必要です。子どもの学びは周囲の人たちと環境を共有していくことです。すなわち保育園側が学びの環境を常に考案し整備していくことにもつながります。

子どもの成長をはさんで保護者と保育園側が保育観を共有する。このことが保護者の意識を変えていく力に生まれ変わるのだと考えています。その意味ではこれからますます保育者の専門性や感性が問われていくでしょう。年間をとおして保護者に保育を見学してもらい子どもたちの成長を確認してもらおうのが行事です。そこに子どもたちの成長の過程を示し保護者に伝える。そうして保育への興味と理解を更に深めても

らう「ねらい」があります。また年間行事をとおして子どもたちは季節ごとの楽しみ、喜びを仲間や保育者、家族と共有し常に目標を持って過ごすことが大切です。

楽しい子育てが難しくなっている今、友達と遊べる時間や生活体験の場の減少といった子どもたちの生活環境の変化まで加えると、これから更に保育園として保護者に保育をとおして家庭での子育てが楽しいものとなるような目標や情報の提供をしていく必要があると思っております。



## 編集後記

新緑も日増しにまぶしくなり、春先に植え付けされた早期水稻の苗も、今年は例年になく活着が良く、夏の豊作を予感させてくれましたが、4月30日に、記録的な大雨となり、県の雨量計で148ミリを記録し、本町では、いたる所に被害をもたらしました。被害に遭われた皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、4月26日に行われました大崎町議会議員選挙で、十二名の議員が決定しました。負託を受けた議員一人一人が町民の為になる活動を一生懸命頑張ってください。投票率が六十六%であったことは、議会としても考えなくてはならないことだと思えます。

これから日増しに暑くなってきました。体は暑さに慣れていませんので十分な水分を取りご自愛くださいようお願いいたします。

広報広聴常任委員会委員

上原 正一

広報広聴常任委員会委員一同